

磁器 シキよまんば!

[早くよまなきゃ!]

陶土屋さん
からの
ニュースレター

巻頭のあいさつ

初・北海道!!

昨年の11月に北海道に行ってきました。初めての北海道、空港も電車も駅も何もかも初めてづくし。まさかの直前に雪が降り(それまでは、雪が降らないことがニュースになっているほどだったのに…)、行けるかどうか心配しましたが、何事もなく無事に出張を終えることができました。雪が積もった道路を車が平気で走る姿は、佐賀と大違いです。

北海道行きのきっかけは、札幌で行われた藤屋式ニッチ戦略塾 (<https://niche-strategy.co.jp/>) の全国大会への参加です。私は、この塾の福岡塾で経営について毎月学んでいました。全国各地の塾生が一堂に会し、大変熱気のある大会でした。札幌塾の方々には大変お世話になり、ありがとうございました。

せっかくの北海道なので、お客さまのところへもお邪魔してきました。

江別市の北川智浩さま、札幌市内の本田麻亜沙さま。ずいぶん前からお取引いただいておりますが、北川さまのところへは初めての訪問、本田さまとはお会いするのも初めて。



(帰り際に慌てて撮りました。観光する時間は全く無し!)

お二人とも帰りは車で送ってくださるとい、何ともありがたいかぎりでした。

話に夢中で写真を撮るのを忘れるという失敗。並んで写った写真を載せたかったのですが叶わず、雪景色の写真も撮っておけばよかったと悔やまれます。写真はお二人にお願いして送ってもらいました。今度から忘れずに撮ってこようと思います(泣)。

荻野直幸



▲藤屋式ニッチ戦略塾のサイト



①江別市の北川智浩さま。②③北川様の作品。④札幌市内の本田麻亜沙さま。⑤⑥本田さまの作品

美濃の鉱山事情

ここ10年ほどの間、美濃の粘土鉱山の閉山が相次いでいます。岐阜県内で、現在も採掘を行っている鉱山はたったの2カ所になりました。

背景には、陶磁器産業の縮小↓抑えられる販売価格↓鉱山の採算割れ、という連鎖があります。昨年6月には、瑞浪市にある食器用の坏土の製造元で業界トップクラス、年間16000トンの生産をしていたカクカ陶料さんが廃業されました。

岐阜県以外では、愛知県陶磁器工業協同組合(愛陶工)さんが美濃焼業界への主要な供給元です。しかし、現在は採掘を休止しており、毎年出荷制限を行っています。

平成3年時点では、岐阜県内に24カ所の鉱山がありました。今も採掘中の2カ所以外で鉱山が残っているのは当社のみ。多治見市は鉱山跡地への企業誘致を進め、平成25年にトヨタ自動車のサービスマスターが開業、昨年にはMGセラミックデバイス(日本ガインの子会社)が操業を開始しました。同じ市内の小名田町には広い住宅街ができました。隣の土岐市ではイオンモールの造成工事が行われています。これらはすべてかつて粘土鉱山だった場所です。

トヨタが進出してきた場所、われわれが採掘していた鉱山でした。平成19年の多治見市からの打診以降、迷いに迷い、検討に検討を重ね、鉱山の3分の2を売却すると決断しました。

決定後は、そこ眠っている粘土22万トンを探掘して、残した鉱山の方へ移しました。現状、採掘は休んでおり、採掘済みの粘土を出荷しています。

粘土の出荷量は年間1万トン弱、売上の4%程度しかありません。原料の粉碎加工や商社機能、加えて遊休不動産を活用しての賃貸事業、太陽光による売電事業などで経営を支えながら、これまでお世話になつてきたお客様に、この先も可能な限り長く粘土の供給が続けられるように努めております。

場所は、われわれが採掘していた鉱山でした。平成19年の多治見市からの打診以降、迷いに迷い、検討に検討を重ね、鉱山の3分の2を売却すると決断しました。

決定後は、そこ眠っている粘土22万トンを探掘して、残した鉱山の方へ移しました。現状、採掘は休んでおり、採掘済みの粘土を出荷しています。

はじめまして。稲垣鋳業株式会社 稲垣徹です。



わが社は、大正5年に多治見市(当時は多治見町)にて創業、木節粘土を採掘して、陶磁器やタイル、耐火物のメーカーに販売してきました。現在の社長、稲垣賢一で5代目になります。この間、粘土の採掘のみに留まらず、乾燥や粉碎の設備を導入し、さまざまな要望に応えるよう努めて参りました。

昭和40年代には、年間8万トン近く販売し、当時の売上の9割を木節粘土が占めていました。その後、昭和50年代以降は、枯渇防止のため採掘量を抑え、海外から良質な原料を輸入したり、乾燥や粉碎のプラントを充実させ、各種受託加工の拡充を図つたりしてきました。

ニュージーランドカオリンを日本で最初に紹介したのが当社です。当初は全く受け入れてもらえませんでした。しかし、瑞浪市の山五陶業さんが先駆けとなり、広まってきました。これによって、有田焼の白さに劣らない美濃の磁器が作れるようになりました。



昭和15年ごろの鉱山風景

Hinaの 気まぐれたいあいー



ご報告と嵐の20周年ドームツアー♪

長女の日報です。今回も強制されて書いています(笑)。

まずはご報告です。昨年の8月、2回目の教員採用試験を受けました。結果は、不合格。引き続き臨時講師をしながら、3度目の正直を目指します。2度あることは3度ある、にならないように頑張ります！

話は変わって、次はわたしの趣味について。去年の12月8日、大学時代の友人マイコと嵐のコンサートに行ってきました！！

高校生の頃から嵐のファンなんです。以前は新しいライブDVDが出ると、友達と一緒に買いに行き、何回も見ては「ここがよかったよね～」なんて語り合っていました。近頃はCDやDVDを買うことはなくなり、テレビで見えるくらいになっちゃいましたが、20周年という記念のツアーに行けて感動しました！

なかなか当たらないといわれてたチケットを当ててくれたマイコに感謝です。久しぶりの生の嵐を見ることができて本当に最高でした！

刈野日菜



会場の福岡マフィオドームの前で
現福岡ベイサイドウォーク

スタッフ紹介

(中島です)



休みの日は、漫画を読んだり、映画を観たりしています。映画は洋画・邦画・アニメなどいろいろです。入社から1年半、仕事ではまだまだ失敗しますが、丁寧に教えてくれる先輩方に早く追いつけるように頑張ります！

編集後記

“ジキよまんば！”
をお読みのみなさま
こんにちは！ サン・マリンドザイン
オフィスの友永です(^-^)/
えっ?! 今、私がハマってることで
すか？(誰も聞いてない…笑) それ
は、何と言っても子育てです♪ 本当
に可愛くて仕方がないです。 生き
る楽しみソノモノ(*^-▽^-*)



#1 歳3ヶ月

第20話 会長さんの昔話



同業者からの嫌がらせに遭いながらも、何とか生産し始めたポルミルで作った安くて白いやきものができる粘土。原料は、天草の脱鉄陶石と新潟の村上粘土とニュージーランドカオリン。

この粘土を使っていただいたのが、長崎県波佐見町の(株)西山さんです。この頃は月産80万ピースの生産だったと思えます。納入当初は何事もなく順調に生産ができていました。

ところが、途中からトラブル発生。焼成後に割れるのです。窯から出すとすぐに割れるものもあれば、一週間くらい経ってから割れるものもある。最初は何が起こっているのかわからず、毎日毎日トネル窯に入れて焼き続けていました。

焼いても商品にならないとわかったときは、すでにものすくずい量が焼き上がったときになりました。これらは、お客さまのところに届いてから割れる恐れがあり出荷できません。出荷できないやきものが倉庫にどんどん積み上げていきました。

状況確認と今後の対策のために、頻繁に(株)西山さんを訪ねていました。その際に倉庫を覗くと、ピーン、ピーンとやきものが割れる音がしていました。割れる音は止むことなく、来る日も来る日も響き続けました。

(株)西山さんは、父の代からの取引先です。長年お付き合いをいただいていましたので、社員さん方も顔見知りでした。トラブル対応で出入りする私の顔がよほど暗かったのかもしれない、ある社員さんが、「刈野さん、自殺しんしゃんなよ(自殺しちやいかんよ)」と声をかけてくれました。実際に、うちが倒産するという風評が流れたのも事実です。

みなさまお元気ですか？大変な時期ですが、できることをやりましょう！

刈野 陶磁器



<https://fromform.jp/>

有限会社 刈野陶磁器原料

〒849-1426 佐賀県嬉野市塩田町大字五町田乙 287-1

TEL 0954-66-4207 // FAX 0954-66-3747 // E-mail info@fromform.jp

このニュースレターは、これまでご注文いただいた方、サンプルをお送りしました方、名刺交換をさせていただいた方など、ご縁がありましたみなさまにお送りしております。必要のない方は、たいへんお手数ですがその旨を上記までご連絡ください。